

平成26年12月期

第2四半期決算説明会資料



共同PR株式会社

(JASDAQ:2436)

www.kyodo-pr.co.jp



Public Relations

共同PRは、企業や団体がメディアに情報素材を提供し、記事や報道として、社会に認知されるように働きかける活動を、専門家としてサポートします。

Media Relations[®]

PR活動は、マスコミとの良好な関係を基本としています。共同PRがそれをメディア・リレーションズ(MR)と呼び、最重要ポリシーの1つにかかっています。

Web Relations[®]

インターネットユーザーが急激に増大しています。企業が日々発信する情報も、それらの情報サイトに出来る限り多く、タイムリーに、適切な形で掲載させていくことで、戦略的に外部ゲートである入口の拡大を図る必要があります。

Investor Relations

IR活動は、PR活動と連動して初めて、投資家・株主を含むステークホルダーとの良好な関係の構築につながります。私たち共同PRは広報の専門家として、メディア・リレーションズを軸にしたPR活動を通じてIR活動をサポートします。

連結業績要約

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益
前第2四半期 (累計)	1,845	▲112	▲112	▲29
当第2四半期 (累計)	2,046	▲5	▲8	▲16
増減率	10.9%	95.3%	92.1%	44.9%

共同PRの業績

The financial highlight of KYODO PR



連結損益計算書要約

単位:百万円

	前第2四半期累計 (売上高比率)	当第2四半期累計 (売上高比率)	対前年同期比 (増減率)
売上高	1,845 (100%)	2,046 (100%)	200 (10.9%)
売上総利益	1,118 (60.6%)	1,142 (55.8%)	24 (2.1%)
販管費	1,230 (66.7%)	1,147 (56.1%)	▲83 (▲6.8%)
営業損失	▲112 (-)	▲5 (-)	107 (95.3%)
経常損失	▲112 (-)	▲8 (-)	103 (92.1%)
特別利益・損失	63 (3.5%)	-	-
四半期純損失	▲29 (-)	▲16 (-)	13 (44.9%)
連結1株当たり 純損益	▲24.33円	▲13.40円	-
1株当たり 年間配当額	0.00円	0.00円	-

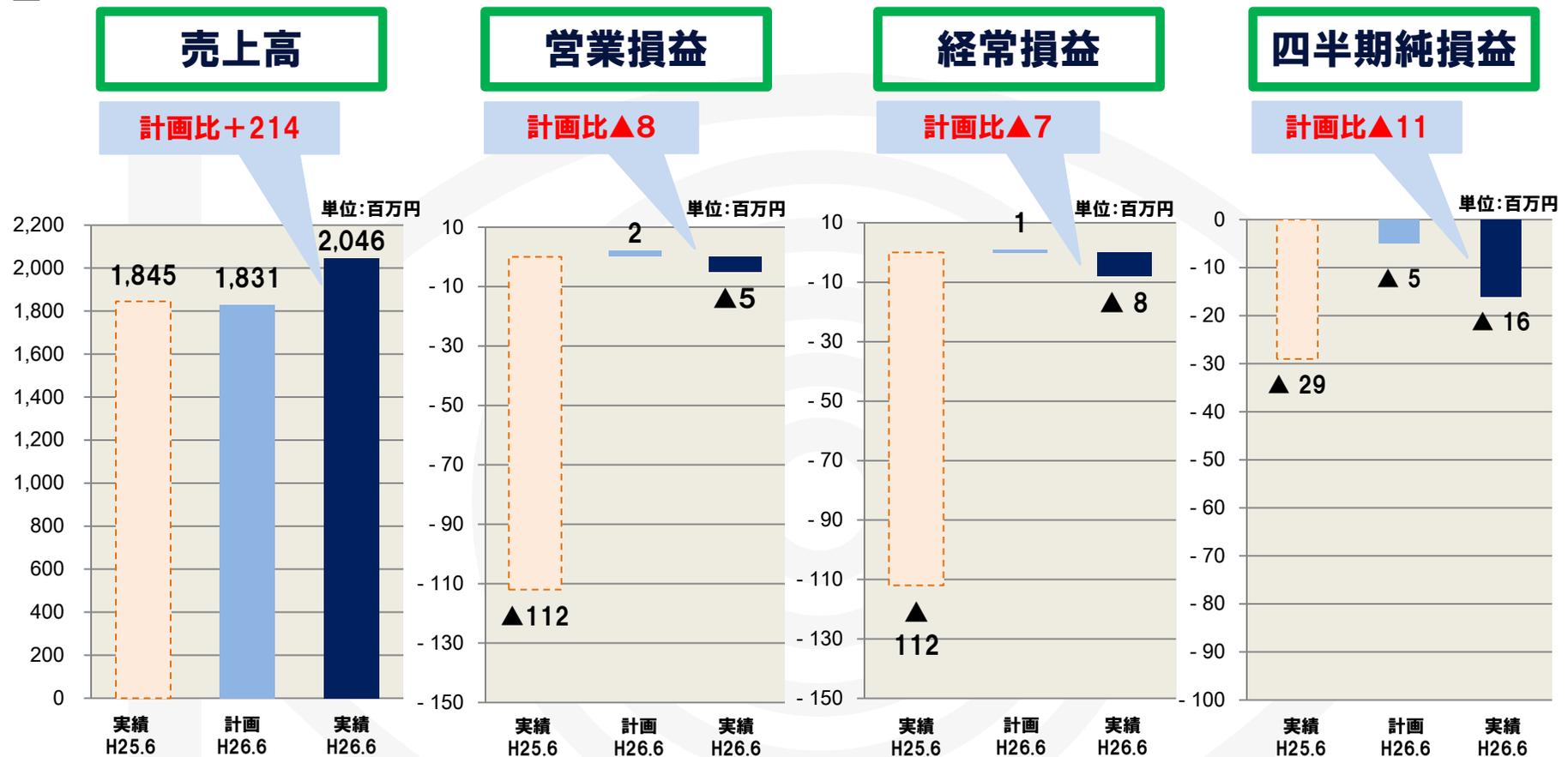
当第2四半期販管費内訳

【人件費】
930百万円
(対前年同期比 ▲8.0%)

【販売費】
6百万円
(対前年同期比 10.8%)

【一般管理費】
211百万円
(対前年同期比 ▲1.5%)

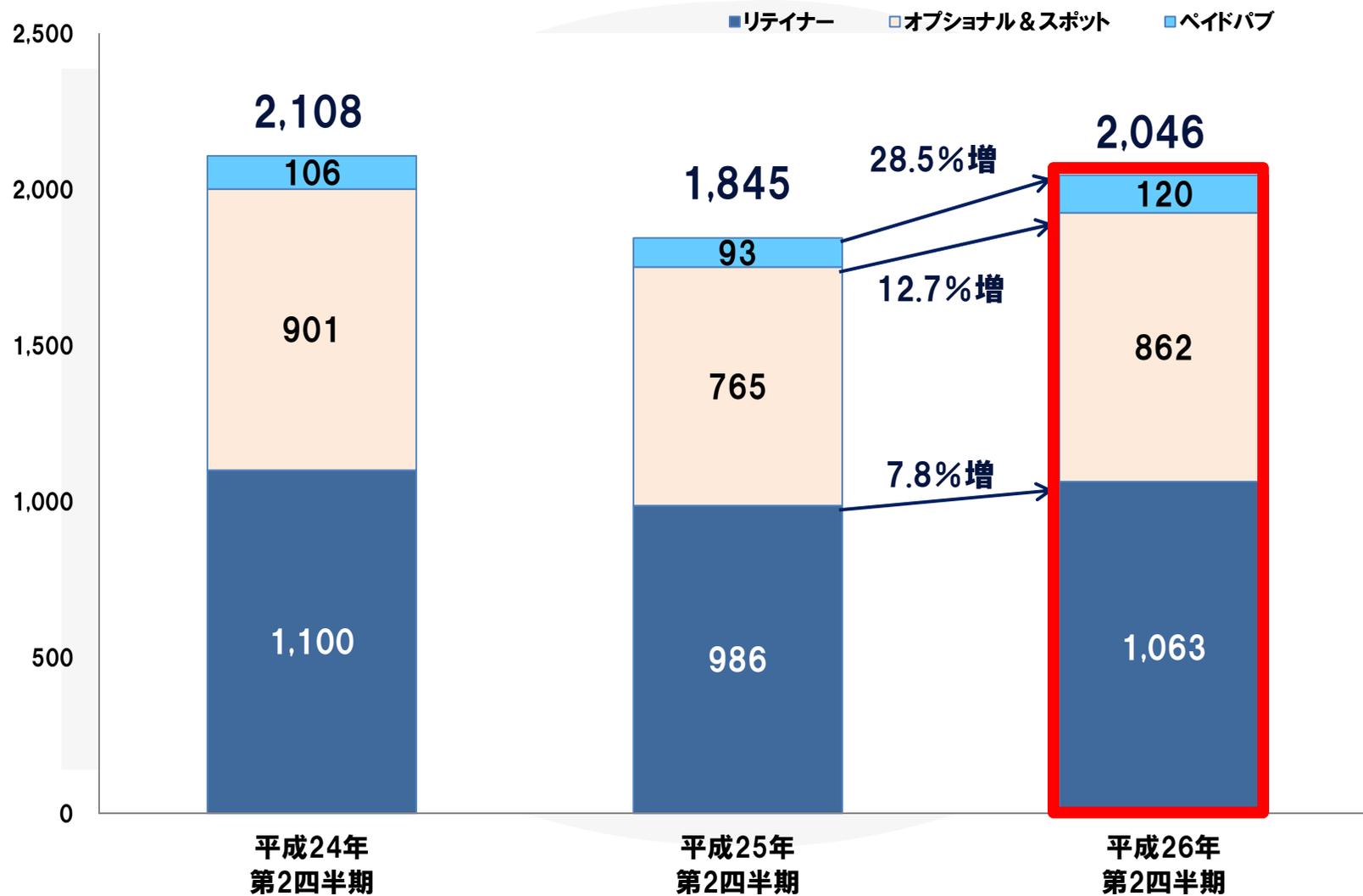
連結実績と計画値対比



総合的には堅調に推移し、売上高は前年同期、計画共に上回ったが、WEB関連の大型プロジェクト受注につき受注損失引当金を計上したため、計画値を達成することができなかった。

- 売上高・・・リテイナー、オプション&スポット、ペイドパブリシティの全サービス区分において増加、リテイナー顧客数も回復。
- 営業・経常・当期純損益・・・前期実施の人員整理や事業所縮小等による固定費削減の効果が出たが、WEB関連大型プロジェクト案件に係る受注損失引当金71百万円計上し、計画値を下回る赤字の結果となった。

サービス区分実績値推移(連結)

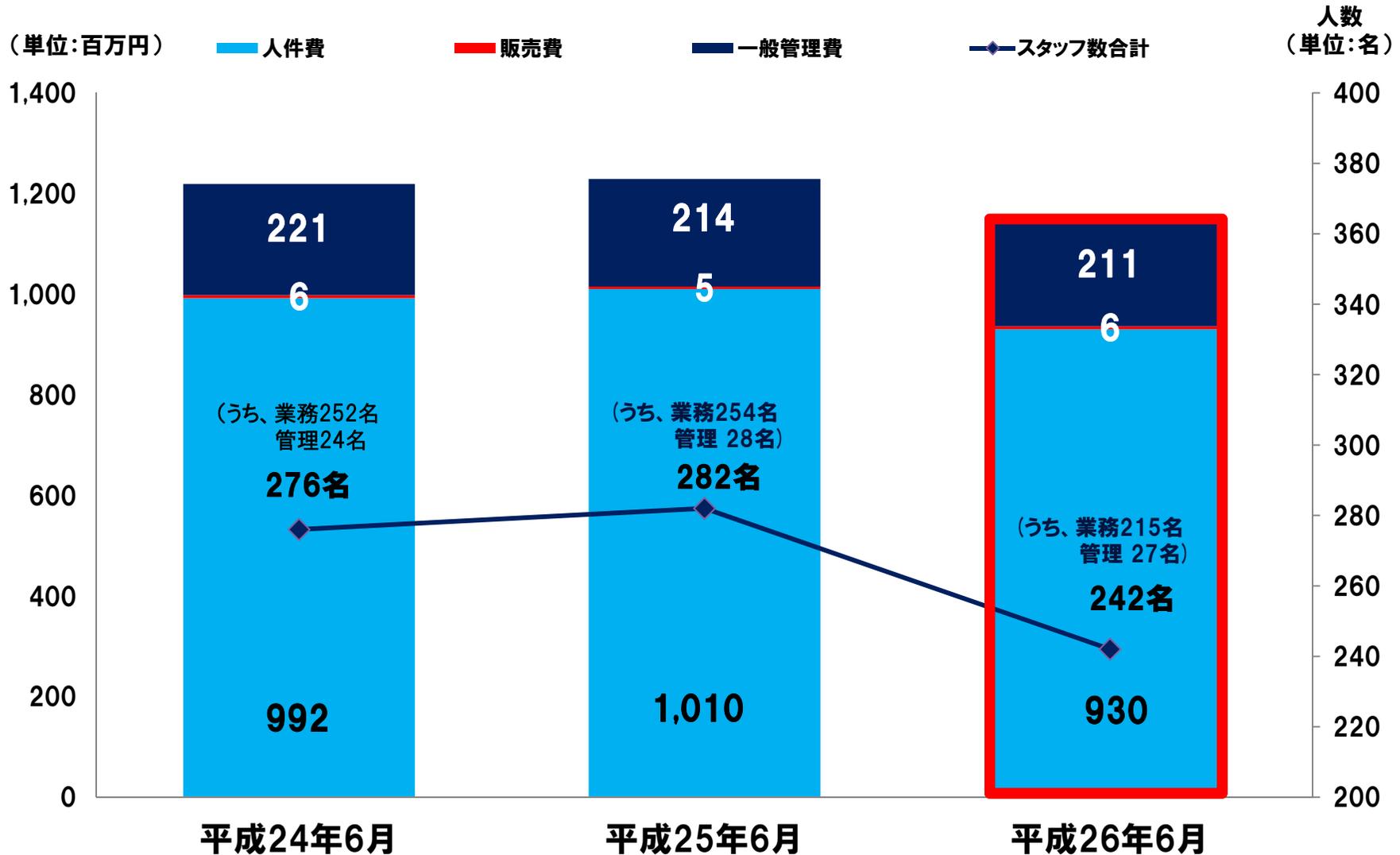


各社別売上高

単位:百万円

	共同PR 単体	共和 ピー・アール	マンハッタン ピープル	共同拓信 (中国)	合計
前第2四半期 (累計)	1,582	102	148	33	1,845
当第2四半期 (累計)	1,729	94	212	35	2,046
増減率	9.3%	▲7.9%	43.4%	6.1%	10.9%

連結販売費および一般管理費推移



連結財務状況(要約貸借対照表)

平成25年12月末

平成26年6月末

(単位:百万円)

(単位:百万円)



増減額

流動資産

57百万円

固定資産

▲22百万円

流動負債

119百万円

固定負債

▲68百万円

純資産

▲16百万円

総資産

35百万円

連結キャッシュフローの状況

単位:百万円

	前期末 累計期間	当第2四半期 累計期間	増 減
営業キャッシュフロー	▲120	134	255
投資キャッシュフロー	78	14	▲64
財務キャッシュフロー	181	57	▲124
現金及び現金同等物	655	861	205

営業CF増減要因

税前利益	▲8
売上債権	124
仕入債務	▲114
賞与引当金	64
受注損失引当金	71

投資CF増減要因

定期預金預入	▲13
有形及び無形固定資産 の取得	▲8
定期預金の払戻	20
敷金及び保証金の取得	32

財務CF増減要因

長期借入金の返済	▲52
短期借入金の純増額	110

単体損益計算書要約

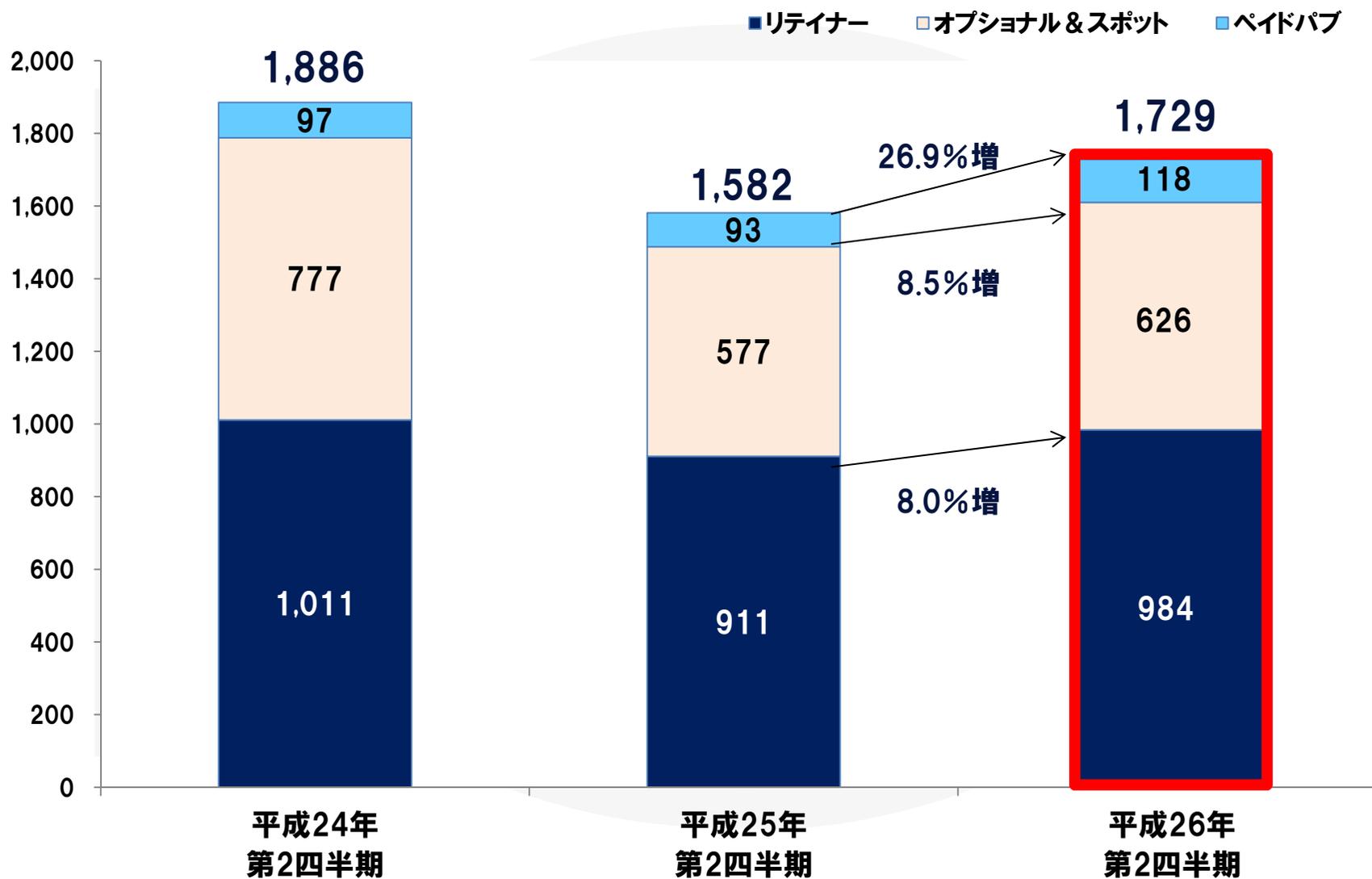
単位:百万円

	前第2四半期累計 (売上高比率)	当第2四半期累計 (売上高比率)	対前年比 (増減率)
売上高	1,582 (100%)	1,729 (100%)	146 (9.3%)
売上総利益	983 (62.1%)	978 (56.6%)	▲4 (▲0.5%)
販管費	1,079 (68.2%)	990 (57.3%)	▲88 (▲8.2%)
営業損益	▲96 (-)	▲12 (-)	84 (87.3)
経常損益	▲95 (-)	▲14 (-)	80 (85.0)
特別利益・損失	63 (4.0%)	- (4.0%)	- (-)
四半期純損益	▲15 (-)	▲18 (-)	▲28 (▲18.1)
連結1株当たり 純損益	▲36.46円	▲15.17円	-

当第2四半期販管費内訳

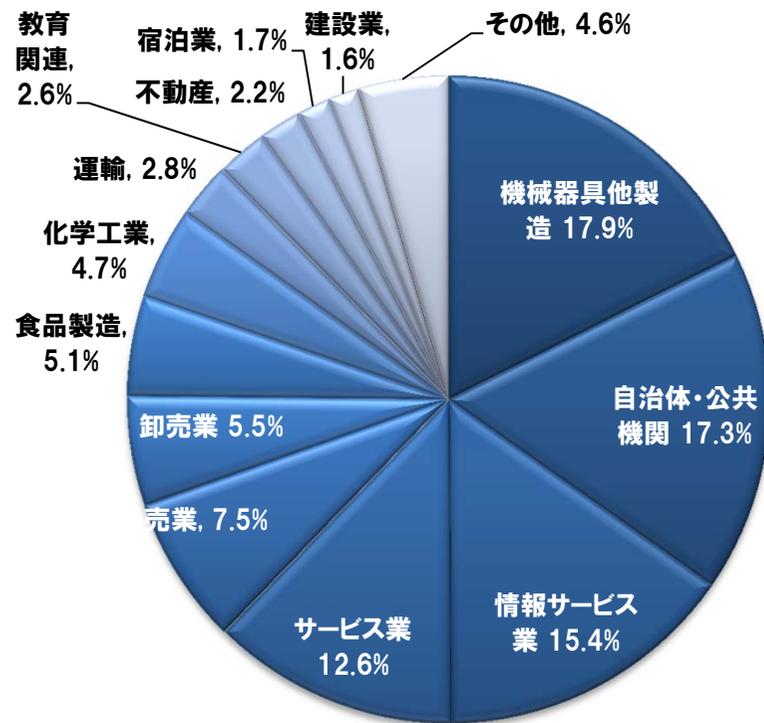
- 【人件費】
800百万円
(対前年同期比 ▲9.8%)
- 【販売費】
5百万円
(対前年同期比 15.0%)
- 【一般管理費】
185百万円
(対前年同期比 ▲1.4%)

サービス区分実績値推移(単体)

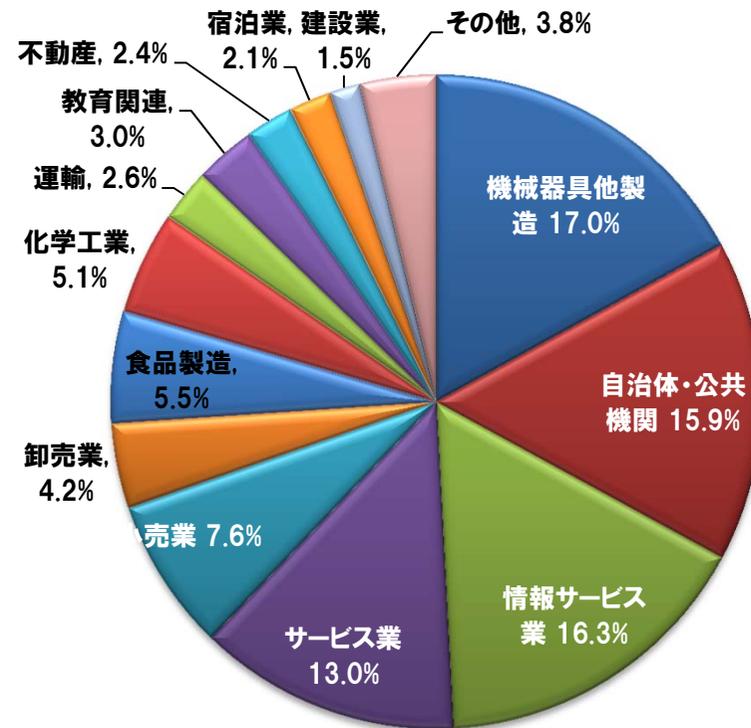


単体業種別売上高構成比率(リテイナー)

平成25年6月

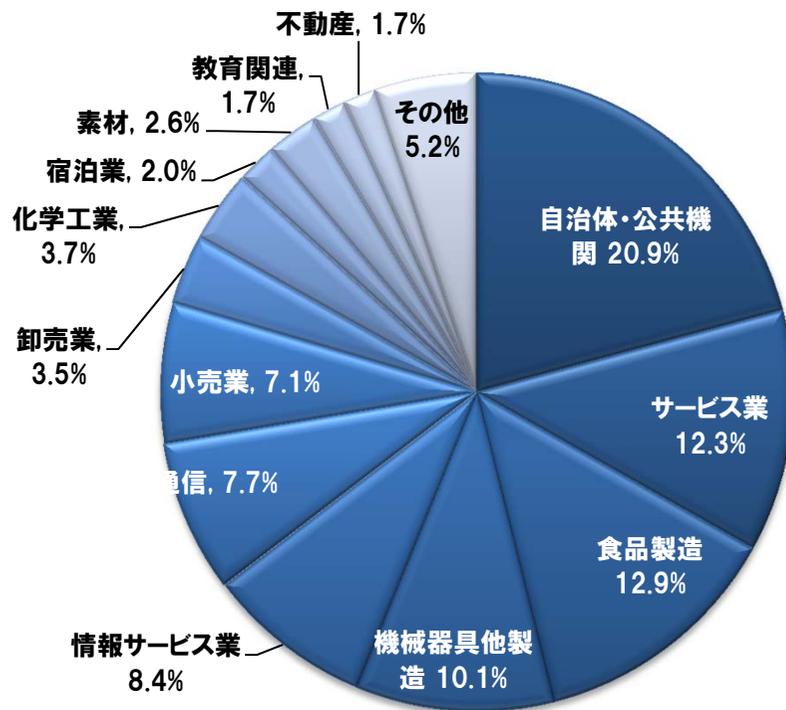


平成26年6月

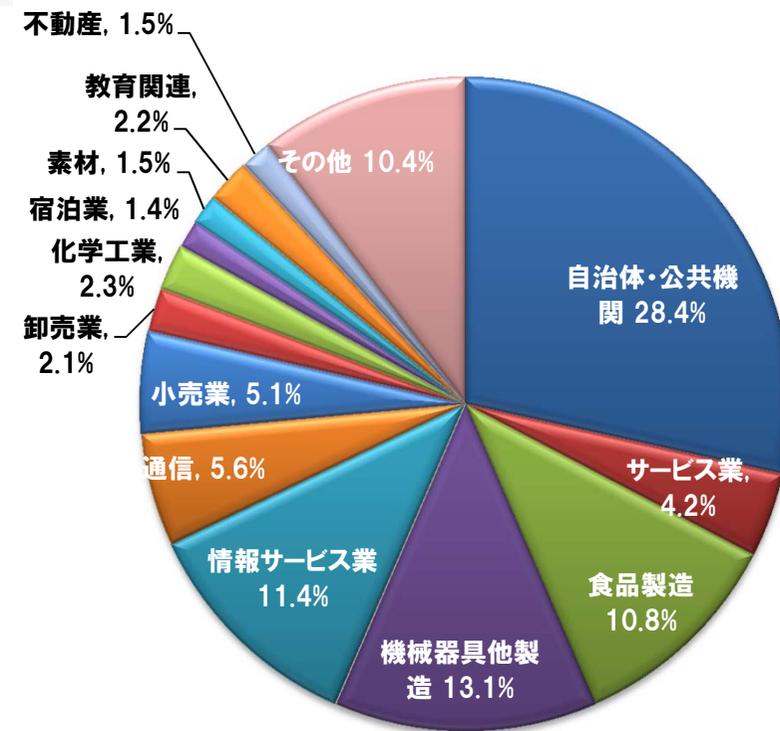


単体業種別売上高構成比率(オプション&スポット)

平成25年6月



平成26年6月



平成26年度通期業績予想

単位:百万円

連結	平成25年通期実績(A)	平成26年通期予想(B)	対前年比 (B) - (A)
売上高	4,018	3,907	▲111
(リテイナー)	2,070	2,128	58
(オプション&スポット)	1,678	1,538	▲139
(ペイドパブリシティ)	269	239	▲30
売上総利益	2,386	2,445	58
販売費及び一般管理費	2,487	2,356	▲131
営業利益	▲101	88	190
経常利益	▲99	84	184
当期純利益	▲57	36	94

単位:百万円

単体	平成25年通期実績(A)	平成26年通期予想(B)	対前年比 (B) - (A)
売上高	3,406	3,471	65
(リテイナー)	1,907	1,955	48
(オプション&スポット)	1,233	1,282	48
(ペイドパブリシティ)	265	233	▲32
売上総利益	2,072	2,112	40
販売費及び一般管理費	2,167	2,026	▲141
営業利益	▲94	86	181
経常利益	▲95	84	179
当期純利益	▲70	40	110

当期のトピックス

This period's topics of activities



Topics 1

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

国立競技場、56年のフィナーレを飾る最後の公式戦をPR！



業績好調！マンハッタンピープル



『アナと雪の女王』 空前の大ヒットを記録！

『アナと雪の女王』(原題:Frozen)

- ・ウォルト・ディズニーが送る3Dコンピュータアニメーション・ミュージカル・ファンタジー映画。
- ・日本での興行収入は、『タイタニック』に次ぐ歴代3位となる250億円を突破。
- ・主題歌「Let It Go～ありのまま～」とともに、本年、最大の社会現象となっている。

『ゼロ・グラビティ』 アカデミー賞監督賞含む最多7部門で受賞

『ゼロ・グラビティ』(原題:Gravity)

- ・ワーナー・ブラザーズが送る SF・ヒューマン・サスペンス映画。
- ・第86回アカデミー賞において、監督賞や主演女優賞など最多7部門で受賞。
- ・第70回ヴェネツィア国際映画祭のオープニング作品に選ばれるなど業界から高い評価を得る。

Topics3

ソーシャルメディア時代の広報人材育成プログラム

佐々木博氏による有料講座「メディアデザインセミナー」を開催！



ご清聴ありがとうございました。

Kyodo Public Relations Co., Ltd.

本資料に関するお問い合わせ先

info@kyodo-pr.co.jp

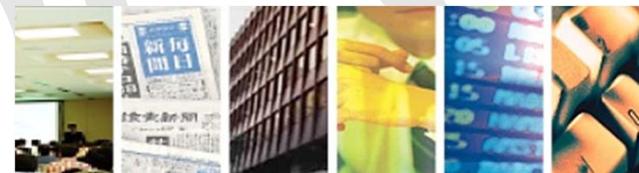
03-3571-5172

経営企画室

【ご参考資料】

共同ピーアールの概要

The outline of KYODO PR



会社概要

- 設 立 年 月** : 1964年11月14日
- 資 本 金** : 4億1,990万円
- 代 表 者** : 代表取締役社長 上村 巍
- 役 員 数** : 取締役4名(うち、社外取締役1名)
監査役3名(うち、社外監査役2名)
- 従 業 員 数** : 203名(単体)、242名(連結)(平成26年6月末日現在)
- 連 結 子 会 社** : 共和ピー・アール株式会社、株式会社マンハッタンピープル、
共同拓信公関顧問(上海)有限公司
- 海 外 拠 点** : 北京、上海
- 本 社** : 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル
TEL 03-3571-5171(代表)
- ホ ー ム ペ ー ジ** : <http://www.kyodo-pr.co.jp/>

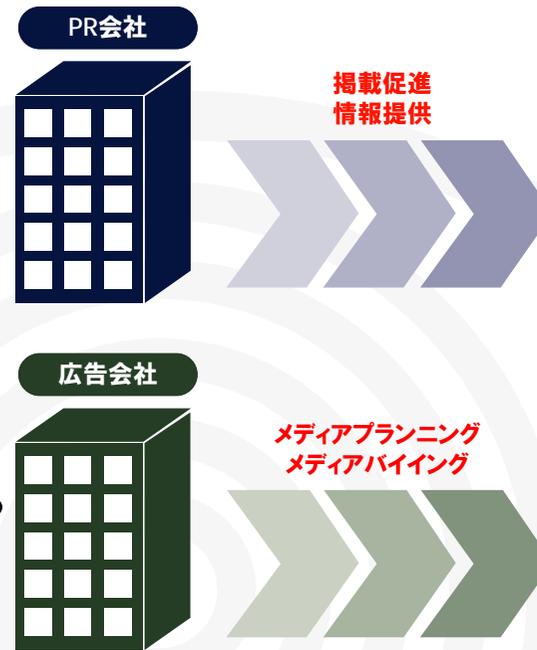
ビジネスモデル

“ニュース素材”のメーカー



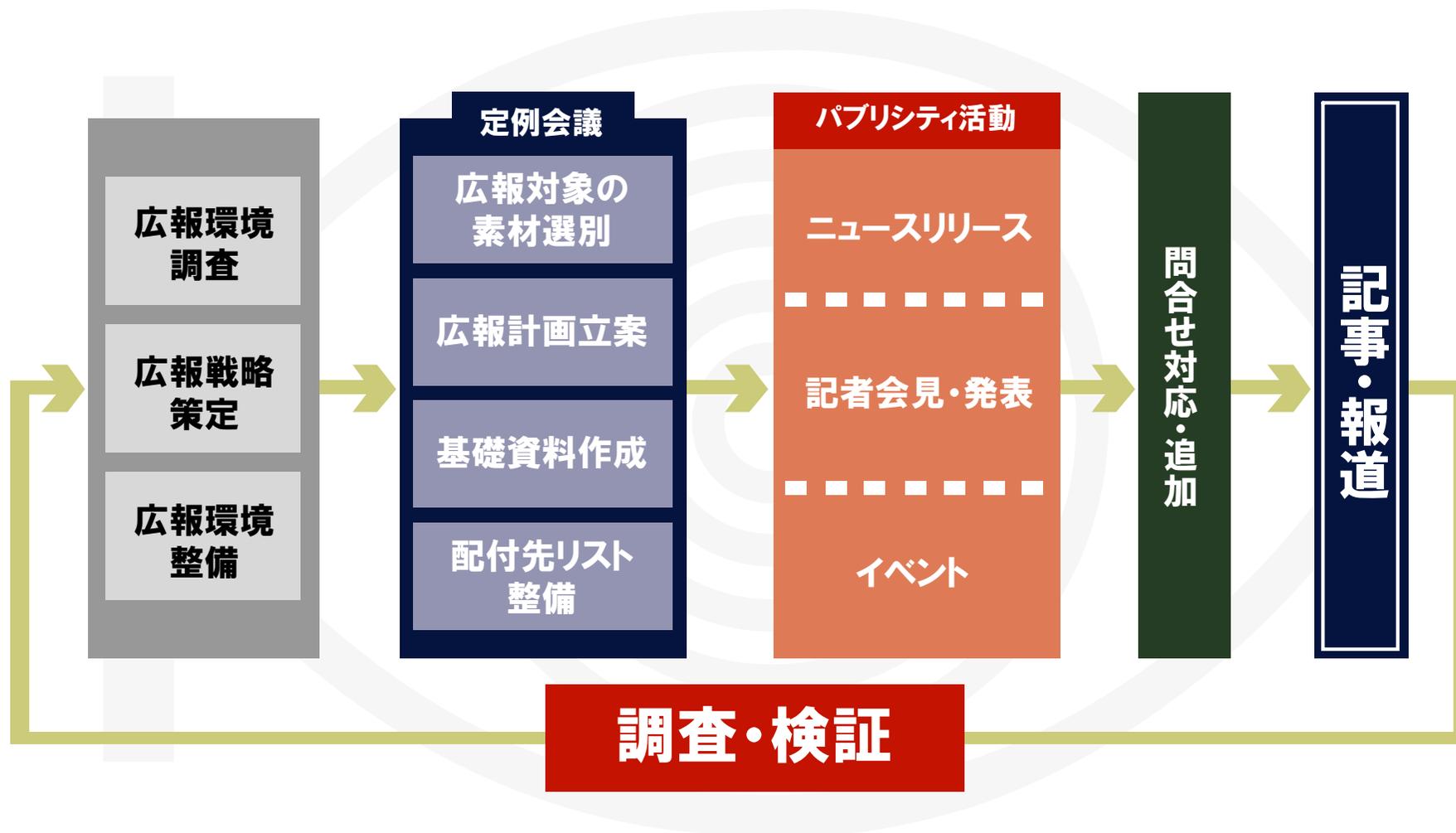
記事と広告の違いについて

PRは
“Public Relations”
 の略ですが、
 日本では広告との違いが
 うまく認識されていません。



	記事 (パブリシティ)	広告 (アドバタイジング)
担当部門	報道局 / 編集局	広告局
掲載面	記事(報道/ニュース、番組内)	広告スペース (CF)
情報発信主体	マスコミ側	広告出稿者
情報の特性	客観的	主観的
情報内容の基準 (傾向)	事実	イメージ
情報のリピート性	▼ 低	▲ 高
内容の信頼度	▲ 高	▼ 低
費用対効果 (ROI)	▲ 高	▼ 低

パブリシティの全体図（基本業務フロー）

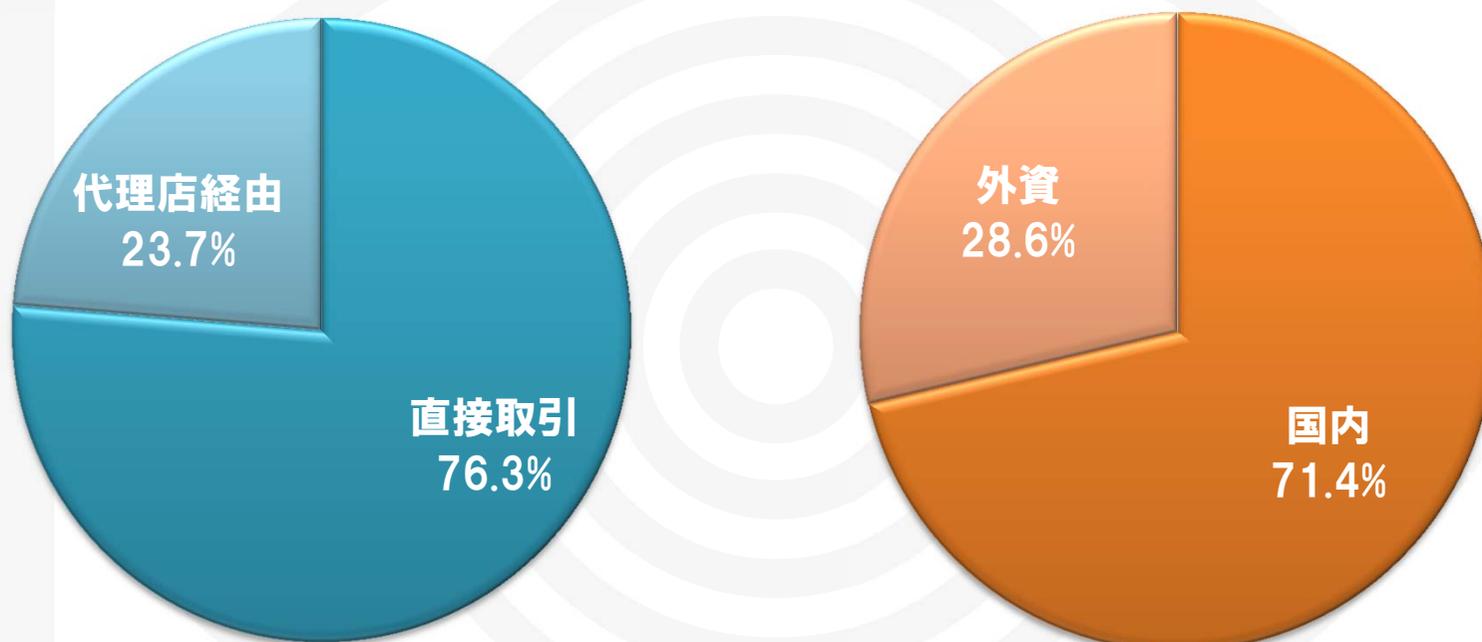


PR事業の業務区分の関係図



リテイナークライアント獲得経由と外資系の比率

H26年6月末 単体



※リテイナークライアントとは
6ヶ月以上の契約を締結しているクライアントをいいます。

PR活動のさまざまなシーン



ニュースイベント企画



テレビパブリシティ



社長・人物インタビュー



メディアキャラバン



記者発表会



メディアトレーニング



WEB-PR



リリースの作成/発信



プレスセミナー



公募・プレゼントパブリシティ



取材誘致



広報対応サポート



クリッピングモニター

本資料の取り扱いについて

- 本資料は弊社の事業及び業界動向について、弊社による平成26年8月28日現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確定要素が内在しております。
- 既に知られた、もしくは未だ知られていないリスク、不確定要素、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。弊社は将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる場合があります。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて弊社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。